九州地連女性協

2008春を呼ぶ女性のつどい開く

女性協議会

九州地連女性協議会では、この時期恒例の「春を呼ぶ女性のつどい」を、2月16日（土）に、福岡市で開催しました。今回は、地連内各単組から男性一名を含む二六名が参加しました。

はじめに、九州地連の岡田浩一執行委員長が「ベースアップ・ゼロの意味するもの」と題してミニ講演を行い、昨年には、ベアゼロが九五の単組まで広がった現状について触れ、最近の物価上昇や定率減税の廃止などをしっかりと認識し、今年の春闘では、ベアを勝ち取ろうと訴えました。

つどいに参加したみなさんで記念撮影

続いて、各単組が抱えている問題についての報告がありました。特に、女性の採用が減少している中で、現在増えている派遣アナウンサーの問題が大きく取り上げられたほか、残業時間や携帯電話、タクシー代のランキングの発表、若手社員の早期退職など、様々な問題が出され、熱い議論が繰り広げられました。

午後からは、大分県職員で、（財）生涯学習開発財団認定コーチでもある佐藤敬子さんを講師に招き、「あなたがもっと輝くエンパワーメント講座」と題して、今回のメインでもある講演会が行われました。佐藤さんは、現在注目されているコーチングの資格を活かし、セクハラやDVなどのカウンセリングを行っています。講演では、心理テストなどを織り交ぜ、コーチングの観点から、心の病気を抱えている人が増える中で、職場や、会社との交渉の中でのコミュニケーションの重要性を強調しました。参加者は、ユーモアあふれる佐藤さんの話しぶりにすっかり引き込まれた様子で「この講演で元気が出ました！」という感想がたくさん寄せられました。今回のテーマであった〝元気（＝パワー）〟を得られるような会にしようーという目的も達し、収穫の多いつどいとなりました。

エンパワーメント講座の様子

●女性協
URL
http://www.minpororen.jp/women/index.html